



宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

2020 7 月

常設展示室

宮永岳彦が描く四季の花

思い出の花園

2020年2月28日(金) ▶ 8月23日(日)

展示作品より今月の一点

《 馨 》



豪華絢爛なドレスを身に纏い、ハープやフルートを奏でる女性達。やわらかに差し込む陽射しは昼下がりでしょうか？楽しく和やかな雰囲気伝わってきます。

宮永は、ハープを弾く女性を描くため、「嘘は描けない」と専門家の指導を仰いだといいます。楽器やそれを奏でる女性の指は精緻に描かれている一方で、女性のドレスや背景の筆のタッチは大胆です。この繊細さと大胆さのコントラストが、画面に抑揚を与え、リズムを醸し出しています。この相反した筆使いを間近でご覧ください。

宮永は 50 歳を過ぎ油彩画に専心し、美人画を多く描きました。本作品は、晩年に取り組んだ女性群像の一つで、人物の動き、光と影の描写に、宮永のあくなき探究心が窺えます。

軽やかな風に乗る、ハープやフルートの優しい音色がどこからともなく聴こえてきそうです。

油彩画 1985年 100F+100F

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

『文學界』挿絵 ～ スイレン ～

水面に可憐に咲くスイレンは、素朴で水墨画特有の侘び寂びが表現され、花の儚さまでも感じられます。

宮永は「挿絵には挿絵の美学がある」といい、挿絵も数多く手掛けました。

水墨画で習得したばかりの技法は、後に油彩画の光と影の表現の礎となります。



雑誌挿絵 水墨画 制作年不明

Welcome to

市民ギャラリー

当美術館には、宮永作品の常設展示室の他、市内外の皆様の創作活動の発表の場としてご使用いただく市民ギャラリーがあります。

市民ギャラリーでは、絵画、写真、工芸、フラワーアレンジメントなど様々な分野の展覧会が開催されています。どうぞ美術館に足をお運びいただき、多様な芸術作品の鑑賞をお楽しみください。

また、市民ギャラリーは、ご利用日の半年前から予約が可能です。展覧会の開催をご検討の方は、宮永岳彦記念美術館にお問合せください。

市民ギャラリーのご予約について

7月1日(水)より2021年1月分までの予約を受け付けています。

開催中の『思い出の花園』にちなんで、花についてのエッセイを連載します。今月は水上に幻想的に咲く花、スイレンです。

今月の花 「スイレン」

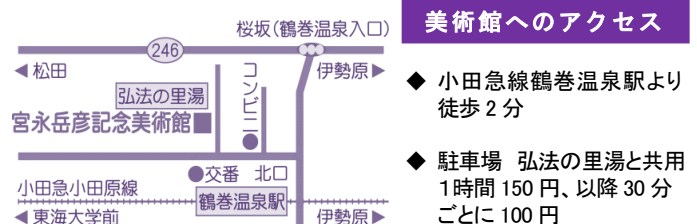
水面に浮いたように大きな花を咲かせるスイレンは、日本全国の池や沼に広く分布しています。水面に反射する光、葉の印影、鮮やかな色のスイレンの花を見て、フランスの印象派画家クロード・モネの「睡蓮」を思い浮かべる方も多いでしょう。

スイレン(睡蓮)は、夕方になると眠る(睡る)ように花を閉じるハス(蓮)ということで名付けられました。実際には、茎を伸ばし水面より上に咲くハスとは、花も葉も根の形状も全く異なる種類です。スイレンの花期は種類によって異なりますが、5~10月で、3日の



寿命といわれるハスよりもずっと長いです。

スイレンの見頃は6~9月になります。避暑としてスイレンの名所の池を訪れてみるのはいかがでしょうか？



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

7月の休館日：6日(月) 13日(月) 20日(月) 27日(月)